

大阪府立

東大阪

支援学校

タイトル(テーマ)

お金の学習アプリ活用

東大阪 No. 11 号

令和

2 年 1 月 22 日

取組の内容・授業の様子(生活課程)

- ①対象生徒: 高等部生活課程2年国数の授業
- ②授業内容: お金の学習
- ③使用した機器: i-Padの「お金の学習」アプリ、大型テレビ

iPadのアプリを大型テレビに映し、個々のレベルに合わせた問題を出題した。
お金にタッチして、出題された通りの硬貨を並べる課題を行った。
アプリの操作をしていない生徒も画面を見ながら声を出して、一緒に問題に取り組んだ。

発達段階の差が大きい学習グループであり、個々に課題を作成して取り組んでいたが、効率が悪かった。



i-Padのアプリを使用し、個々のレベルに合わせながらみんなで同じ問題に取り組むことができる授業展開にした。

お金の学習アプリ



成果と今後の課題

大型テレビに写すことで見ている生徒も声をだして参加できるので、生徒がより積極的になり、楽しんでお金の学習に参加できた。また、生徒同士で協力して問題に取り組む様子も見られた。みんなの前で正解することで自己肯定感が得られたり、よりステップアップした問題に取り組むことができるようになった生徒もいた。